

## 他地域における取組み



## VI-1 秋田県八郎湖

秋田県八郎湖は、八郎潟（面積22,024ha、最大水深4.5m、平均水深3m）の干拓後、東部承水路と西部承水路とがつながる調整池で、その面積は約4,800haと広大な面積を誇っています。

八郎湖では、漁業が盛んに行われており、主にワカサギやシラウオ、コイ、フナ、ハゼ科魚類などが漁獲されています。

昭和58年に八郎湖でオオクチバスが確認されて以降、生息数は増



▲ 東部承水路

加し漁業被害や生態系に悪影響が出ています。このため、漁協の組合員が主



▲ 八郎湖（調整池）

体となりオオクチバスの駆除を行っています。駆除方法は、漁業に使用している定置網（建網やふくべ網）や刺網などです。

## VI-2 愛知県犬山市内のため池

愛知県犬山市には、大小150箇所のため池があります。これらのため池には、希少種や二枚貝などの生息が確認されています。

これらのため池にもオオクチバスやブルーギルの生息が確認されています。

平成14年から犬山市内の中島池と隣接している新池を中心に駆除活動を行っています。駆除方法は水抜きが可能なため、池干しによる駆除を行っています。



▲ 池干しが行われた中島池

犬山市と犬山市環境審議会が主催となり「おそうじとおさかなレスキュー」を



▲ 中島池に隣接する新池

開催し、地元市民が約250名参加しています。この活動では、ため池を干したあと池の清掃とオオクチバスやブルーギルの駆除を行っています。また、このとき捕獲された在来種は一時水槽などに保護し、再度放流を行っています。

### VI-3 石川県片野鴨池

石川県加賀市に位置する片野鴨池は、ガン・カモ類など冬の渡り鳥が越冬のため飛来し、伊豆沼・内沼と同様にラムサール条約に登録されている湿地です。

片野鴨池では漁業は行われていませんが、希少種に指定されているホトケドジョウなども生息しています。上流には下福田調整池があり、両池ともオオクチバスの生息が確認されています。このためオオクチバスの増加が、生態系へ与える悪影響が懸念されています。



▲ 片野鴨池全景



▲ 下福田調整池からの流入部(写真左手から)

現在のところ駆除は行われておりませんが、鴨池や調整池では水位低下と刺網による駆除と人工産卵床を用いた駆除が検討されています。

## VI-4 滋賀県琵琶湖

滋賀県琵琶湖は面積67,033haあり、我が国最大の湖です。琵琶湖の誕生は古く、独自に進化した魚類など貴重な自然の宝庫です。

琵琶湖では古くから漁業も盛んに行われています。しかし、オオクチバスやブルーギルが増加してからは漁業被害や生態系に悪影響が出ています。

滋賀県では県水産課が1984年以降、漁業者を中心に駆除を行っています。駆除



▲ 真冬でも釣り人が集まる彦根旧港

方法は定置網(エリ)、刺網、地引き網、トロール、釣りなどです。このほか、県



▲ 県自然環境保全課が設置している

外来魚回収ボックス

自然環境保全課が2003年から一般の釣り人対象に、外来魚回収ボックスや同イケスの設置および外来魚交換所での「ノーリリースありがとう券」との交換で外来魚の回収を行っています。このほか、市民団体など多くの一般の方々も駆除活動に参加しています。

おわりに





## おわりに

このブラックバス駆除マニュアルは、環境省東北地方環境事務所の委託事業により財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団が作成しました。

作成にあたっては、伊豆沼・内沼でオオクチバス駆除に参加していただいている方々に委員となっただき、検討会を開催してマニュアルの内容について検討してきました。

本マニュアルを活用することで、ブラックバスの駆除作業を着実かつ安全に行うことができ、生態系保全を目指すみなさまの身近な自然を守ることに役立つことを願っております。

### ブラックバス駆除マニュアル作成検討会開催日時

- 第1回検討会  
平成18年 1月15日 10:00～
- 第2回検討会  
平成18年 2月12日 10:00～
- 第3回検討会  
平成18年 2月26日 10:00～
- 第4回検討会  
平成18年 3月12日 10:00～

## ブラックバス駆除マニュアル作成検討委員

宮城県内水面水産試験場	小畑 千賀志
NPO 法人 シナイモツゴ郷の会	高橋 清孝
NPO 法人 シナイモツゴ郷の会	根元 信一
NPO 法人 シナイモツゴ郷の会	大浦 實
水産総合研究センター東北区水産研究所 資源培養研究室	斉藤 憲治
株式会社仙台コンサルタント	浅野 一彦
阿武隈生物研究会	池田 洋二
財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	進東 健太郎
財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	藤本 泰文

---

## 写真提供

NPO 法人 シナイモツゴ郷の会	高橋 清孝氏
阿武隈生物研究会	池田 洋二氏
東北興商株式会社	根元 信一氏

### お問い合わせ先

財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
TEL 0228-33-2216  
FAX 0228-33-2217  
E-mail : [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)  
URL : <http://www7.ocn.ne.jp/izunuma/>



